

◆ 今週のコメント

- ・インフルエンザの定点当たり報告数は4.32で、過去5年平均値(16.83)を下回る値となっており、今シーズンは第5週(9.68)をピークに2週連続で減少しています。全国でも同様の傾向で、第7週は9.51と、定点当たり報告数が10を下回る値となっていますが、都道府県別にみると、未だ24県で10を超えていますので、今後の動向に引き続きご注意ください。平成19年～20年シーズンのインフルエンザ検出状況を見ると、本市ではAH1型 8件、B型 2件の報告で、全国でもAH1型が報告全体の9割を占めています。
- ・腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例で、本年の累積報告数は2例です。血清型は2例ともO157で、ベロ毒素はVT1VT2とVT2です。

◆ 今週のトピックス:〈麻しん〉

- ・「麻しん」(成人麻しんを含む。)は、感染症法の一部改正に伴い、平成20年1月1日から五類の全数報告感染症となっています。その後、本市においても、初めての報告が3例(男1例、女2例)ありました。詳細はトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・二類:結核 3例(喀痰塗抹陽性 1例)【1月以降の累積報告数 45例(喀痰塗抹陽性 13例)】
- ・三類:腸管出血性大腸菌感染症(O157 VT1VT2) 1例
- ・五類:麻しん 3例

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68、小児科定点41、眼科定点10、基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ ^a	インフルエンザ	4. 32	294
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6. 12	251
	② 水痘	1. 00	41
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 76	31
	④ 手足口病	0. 27	11
	④ 突発性発しん	0. 27	11
眼科	流行性角結膜炎	0. 00	0

病原体情報

(検体名は、紙面の都合上、咽頭ぬぐい液をNP、糞便をFC、髄液をSF、尿をURと略す。)

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名	検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名
インフルエンザウイルス AH1型(5)	インフルエンザ(第5・6週)	NP	RSウイルス(3)	RSウイルス感染症(第51週) 感染性胃腸炎(第51週)	NP
インフルエンザウイルス B型(1)	インフルエンザ様疾患 (第6週)	NP	ノロウイルスGII(2)	感染性胃腸炎(第2週)	FC

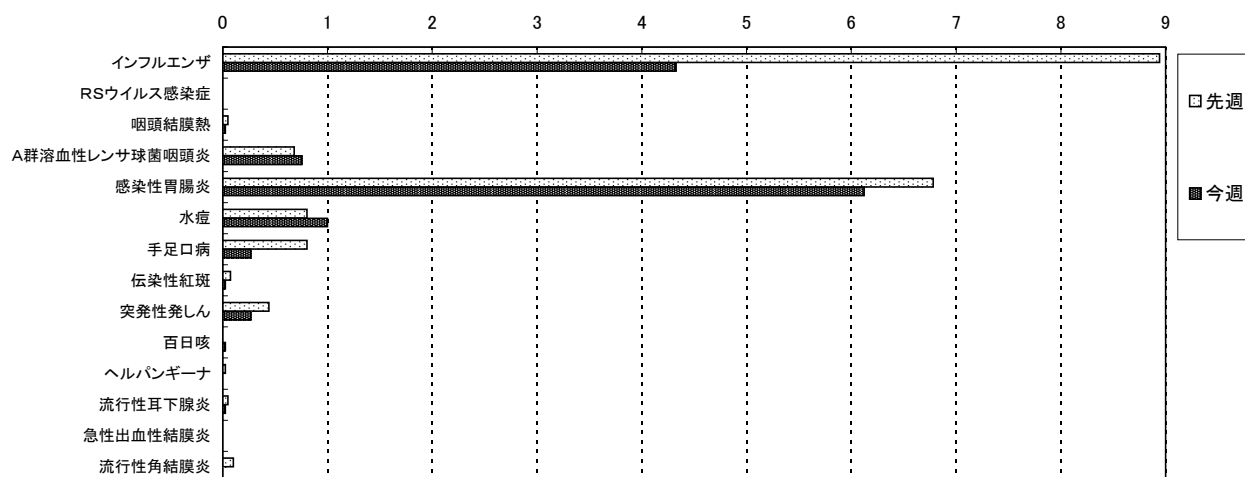
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:〈麻しん〉

(注) 京都市のデータは、平成20年2月25日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。
病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

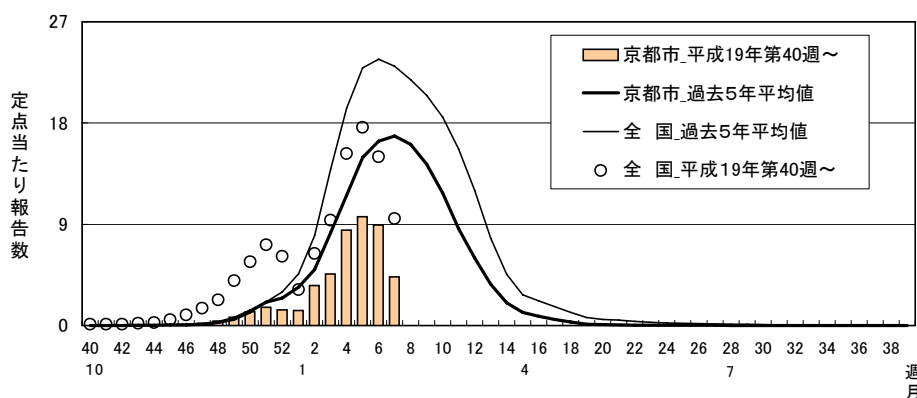
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第7週)と先週(第6週)の定点当たり報告数の比較



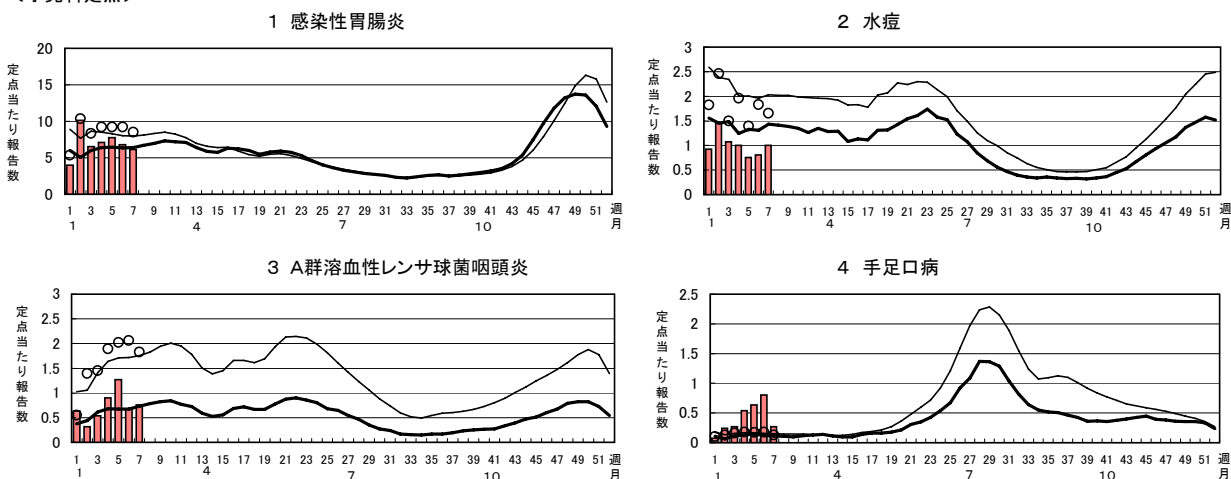
2 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

週	報告数(例)
第3週	312
第4週	577
第5週	658
第6週	608
第7週	294
累積報告数 (第40週以降)	3174

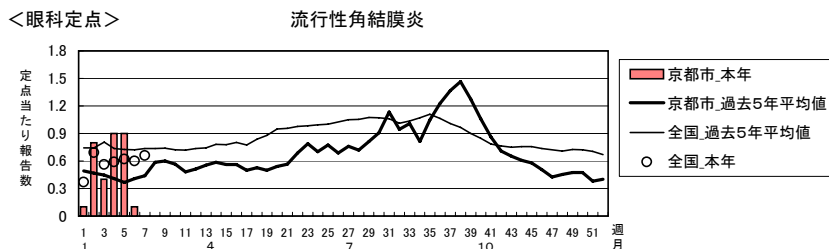


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



今週(第7週)のトピックス:<麻しん>

「麻しん」(成人麻しんを含む。)は、感染症法の一部改正に伴い、平成20年1月1日から五類の全数報告感染症となっています。その後、本市においても、初めての報告が3例(男1例、女2例)ありました。

都道府県別報告状況をみると、局所的に報告の多い地域がみられ、第7週は、神奈川県(174例)、東京都(47例)、福岡県(45例)、北海道(44例)の順に多くなっています。

全国の週別報告状況をみると、第5週から第7週の報告数が多くなっています。

全国の年齢群別構成割合では、15～19歳が24.3%と最も多く、次いで10～14歳の23.0%の順となっており、10歳代で47.3%を占めています。なお、20歳代は22.1%、9歳以下は21.5%を占めています。

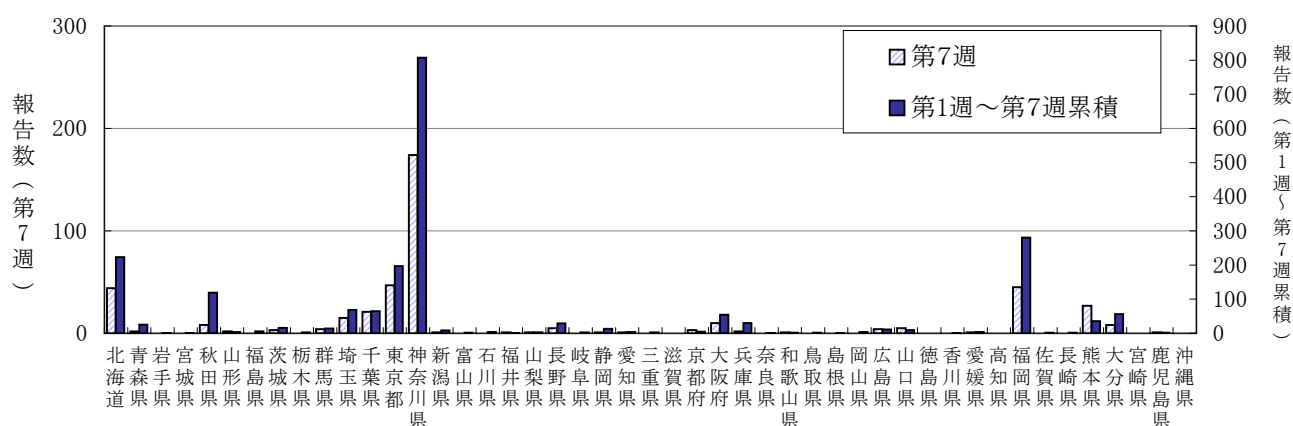
予防には、ワクチン接種が効果的であり、本市では、1歳児と、小学校入学前年度の1年間(4/1～3/31)の児童は、定期接種として麻しん風しん混合(MR)ワクチン(あるいは麻しん単抗原ワクチン)の接種が可能です。

また、平成20年度から中学1年生及び高校3年生に相当する年齢の方に第3期、第4期として、麻しんワクチンを接種する予定となっています。しかし、大学、専門学校に今春入学する新1年生につきましては、免疫が低下している可能性があり、昨年の春同様、麻しんが流行する可能性がありますので、動向にご注意ください。

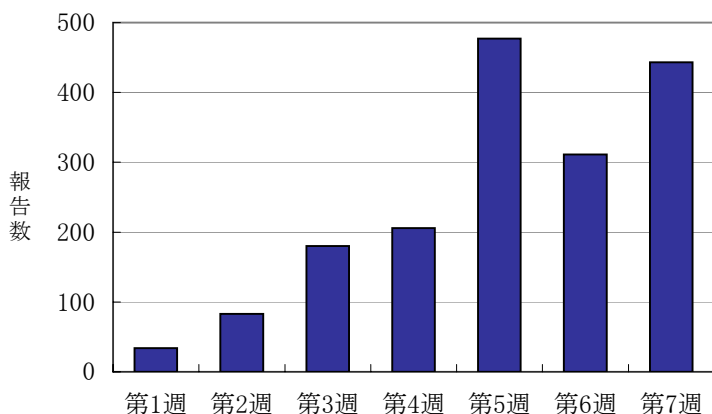
医師の届出に必要な届出票及び届出基準等については、下記の地域医療課ホームページに掲載しています。

(<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000003673.html>)

都道府県別報告状況



全国の週別報告状況



全国の年齢群別構成割合

